

社会実装に向けた前橋版MaaS構築事業（群馬県 前橋市）

【前橋市、群馬大学、NTTデータ、NTTデータ経営研究所、NTTドコモ、未来シェア、ジョルダン、日本中央バス、関越交通、群馬県バス協会、赤城タクシー、前橋地区タクシー協議会、JR東日本高崎支社、上毛電気鉄道、三井住友銀行、東京海上日動火災保険】

◆地域の課題

- ・ 自家用車移動の高い分担率(75%)を受けた公共交通の衰退
- ・ 低密度の郊外で増加する高齢者の移動手段確保
- ・ 乗継負担軽減に向けた交通事業者間の連携不足

- ☑ 複数移動手段活用時の利便性
- ☐ 公共交通・道路の混雑

- ☑ ラストマイルの移動手段不足
- ☑ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

◆将来構想の概要

- ・ 自動運転バスとオンデマンド型の交通サービスを導入して、既存の公共交通機関（バスや鉄道、レンタサイクル等）と連携し、一括ルート検索、決済を目指す
- ・ 郊外から中心部への移動をきっかけに、市内での消費拡大を促す（例：通院をきっかけにショッピングクーポンによる誘導）

◆実証実験の概要

- ・ AI運行バス（NTTドコモ・6台）、ワンマイルタクシーと相乗りタクシー（未来シェア・1台）の実証的運行の他に、城南地区でもAI配車システムを導入予定
- ・ MaaSアプリは、上記に加えて、都心循環エリア（都心循環バス）で自動運転シャトルバスと循環路線マイバスを対象に、都心へのアクセス（従来の公共交通）では上毛電気鉄道や路線バスが対象

- | | |
|---|--|
| ☐ カーシェア | ☐ 貨客混載 |
| ☒ デマンド交通 | ☐ ラストマイル配送無人化 |
| ☒ マルチモーダルサービス | ☒ 移動サービスと周辺サービスの連携 |
| ☒ 自動走行車の活用 | |

METI「IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会」中間整理より引用

◆対象地域

- ・ 2019年度の実証実験については大胡/宮城/粕川地区・富士見地区・城南地区・その他想定地区が対象
- ・ 2022年度を目途に前橋市全域に横展開



◆サービスモデル

- ・ 民間事業によるMaaSポータル運営により移動と決済の統合化を実現。データ分析に基づくモビリティマネジメントや、商業施設等と連携したポイント付与をもとに、公共交通の利用促進を図る

